

全国中学テニス選手権大会【団体】

中学テニス部全国3位



中学テニス団体戦メンバー

中学テニス部は、8月17日から愛媛県松山市で行われた第41回全国中学テニス選手権大会に出場し、団体戦で全国3位になりました。中学テニス部としては10年連続20回目の全国大会出場です。また、個人戦のダブルスに中尾優作・上松悠真組が出場、1回戦を突破し全国ベスト16の成績を修めました。中尾さんは「来年は優勝してほしい」と話していました。試合の様子について応援に行った森田教頭先生に伺いました。

(野川陽介)



発行所

名古屋中学・高校新聞部
名古屋市中区砂田橋2丁目1番58号
TEL 052-721-5271

○結果を受けてどうですか？
森田「名中らしく戦って第三位になりました。結果は嬉しく、誇らしく思います。すばらしいチームワークでした。」
○名中らしさとは？
森田「対戦相手や審判に敬意を払い、自分をささえてくれるチームのみんなや先生、両親に感謝して戦うという事です。」
○良かった点は？
森田「チームワークです。応援を含めて一体感がありました。」
○ヒヤヒヤしたのは？
森田「準々決勝のシングルス、最初のシングルス、続



羽角さん(4L)の演技 (You Tubeより)

ヨロヨロ世界大会 ファイナル進出 羽角さん(4L)

チェコのプラハで行われたヨロヨロの世界選手権に本校の羽角伊弦選手さん(4L)が出場しました。予選を5位、準決勝を6位で通過しファイナルに進出、決勝は各国のチャンピオンが揃い、残念ながら10位となりました。熱戦の様子

全国中学校テニス選手権【団体】結果
1回戦 桐蔭中学校(神奈川) 〇4-1
2回戦 向陵中学校(北海道) 〇3-0
準々決勝 黒石中学校(山口) 〇3-2
準決勝 慶応湘南藤沢中等部(神奈川) 〇〇-3
〇名中らしさはすべての部活動にいえることですね？
森田「はい。常に「Good Winner Good Loser」であってほしいと思います。」

文学部も活躍！

文学部は、8月23・24日に松山で開催された第17回俳句甲子園に出場しました。団体戦は予選リーグで土佐高校(高知県)、首里高校(沖縄県)と対戦し、1勝1敗で惜しくも決勝トーナメント進出を逃しました。長谷川凛太郎さん(5J)の句
海神の 飛魚吐き出して いるのかも
(兼題「飛魚」)
が見事入選句に選出されました。

ハイクヨメ

みなさんは俳句を詠んだことがありますか？今 世界では「HAIKU」が注目を集めています。



今回は石松望くん(3C)の撮影した写真にあわせて俳句を詠んでみました。テーマは「夏の写真」です。

この写真は梅雨のそれも6月頃の写真でしょう。雨上がりに外を見てみる。すると地面一帯に光の粒が。それは葉についた水的だった。太陽の光を反射して、あたり一面に豆電球をちりばめたような錯覚を起こした。しかし、その雨上がりこそが季節の節目だったのだ。
梅雨明けて
水輪にまどふ
日の光
地面の草についた水滴。朝日がのぼれば光り出す。何気ない風景ですが、何気ないところにこそ発想の宝庫があるので。
(文：野川陽介)



玉山義規さん(2D)